

今を輝く人に聞く

17

# まちひと ZOOM!!

7月15日(日)、「パトラン山形」が本市で始動しました。パトランとは、パトロールランニングの略で、防犯パトロールとランニングを組み合わせた新しい防犯活動です。東北では初となるチーム「パトラン山形」の一員として活動しているのが神尾潔さんです。

神尾さんがランニングを始めたのは退職後、63歳の時でした。「健康づくりを目的にジムに通って走り始めましたが、最初は5分ともちませんでした」と話す神尾さん。67歳の今では、ハーフマラソンの大会にも出場するほどに。「冬はマシン、夏は外で週2回から練習を始め、少しずつ走れる距離が長くなりました」と振り返ります。

昨年、メンバーからの声掛けをきっかけに神尾さんがチームに入り、「パトラン山形」米沢チームは現在10人で活動中。毎週水曜日の夜に、市内約5kmのコースを仲間とゆっくり走ります。活動の内容を、神尾さんは「防犯と衛生に気をつけて市内を見回ります。お年寄りが一人である時や、学生が遅くまで集まっている時には必ず声を

新しい防犯活動「パトラン」を行う

かん お きよし  
**神尾 潔** さん (春日5丁目)

[Profile] 趣味はランニングと短歌を詠むこと。  
神尾さんの句「冷や水も大志も人生これからと  
老いに抗ひ挑むマラソン」

## ランニングで 米沢の安心安全を見守る



掛け、ゴミが落ちていたら拾うなどしています」と話します。

全国各地で広がりを見せているパトラン。神尾さんは「健康づくりが目的だったが、社会貢献や他のランナーとの交流もできた。今後も、生まれ育った町へ恩返しする意味も込めて活動していきたい」と意気込みを話します。パトランのユニフォームである赤いTシャツに込められた安心安全への願いと共に、神尾さんは今日も走ります。

西日本各地に集中豪雨が発生し、多くの方が被災されました。心よりお見舞い申し上げます。米沢もいつ豪雨に見舞われるか分かりません。防災意識の高揚に取り組んでいかなければならないと改めて感じているところです。

さて、7月は地域の神社の祭りや夏ならではのイベントがあり、各所で学生の活躍に接し、頼もしさを感じました。7月15日に開催された「ヨネザワサマーフェスティバル」の「ティーンズロックイン」

## おしょうしな よねざわ



今月のはなし

### 夏祭り～若い力の躍動～

「ネザワ」には、市内外から11の高校が参加し、見事な演奏を披露しました。このイベントは青年会議所の主催でしたが、実行委員として山形大学の学生も頑張っていました。

また、東町皇大神宮夏祭りには、米沢栄養大学、米沢女子短期大学、山形大学工学部の学生が参加しました。神輿(かみこ)渡御(とぎよ)には、東京から応援の学生も加わり、水を浴びながら神輿を担いで地域に溶け込んでいました。この時の、学生と地域との交流をNHK山形放送局が追跡取材し、ドキュメンタリーが制作されました。学生と地域との交流は、地域を活性化し『学園都市米沢』をより魅力的なまちにしていけます。

様々な場面で学生や若者が活躍している姿を拝見できるのは、本当にありがたい、嬉しいことです。地域の活動に参加することで、自らの成長の糧にもなればいいですね。

米沢市長 中川 勝